

応用英語 C

2010年4月14日

山下 淳

教材

印刷物を事前（原則1週間前）に配布

場所

山下研実験室（機械棟2階203号室）

成績評価

出欠状況（原則全部の講義に出席していない場合は不可）と宿題（レポート）内容

講義内容

教材を事前に予習をしておき，講義中に順番に英文とその和訳をしていく．
時々技術的な解説をする．

講義の前に90分予習，講義の後に90分復習が目安．

講義の最後に和訳の宿題（レポート）を課す．次週の講義の最初に提出する．

難しそうな英文でも，まず修飾語は無視して，文章の主語と述語が何であるのかを考えると分かりやすい．主語と述語が分かったら，修飾語がどの部分にかかっているのかを考える．

単語の意味は，できれば複数の辞書を見て調べると良い．

技術用語など辞書にのっていない場合は，インターネット等で調べる．

単語には複数の意味があることが多いので注意する．特に日本語でカタカナになっている単語の意味には注意．もちろんカタカナのままで訳したほうが良いこともある．

また，発音とアクセントにも注意する．発音のローマ字読みはダメ．

英語と日本語で意味が違う（複数の意味がある）例

オーディション：歌手・俳優などを登用する際のテスト

Audition：聴覚

英語と日本語で発音が違う例

Robot：日本語ではrobotto（ロボット），英語ではróubat（ロウバット）

Image：日本語ではime:ji（イメージ），英語ではímidz（イミジ）